



2024年4月15日

各 位

会社名 中部水産株式会社
代表者名 代表取締役社長 脇坂 剛
(コード番号 8145 名証メイン)
問合せ先 経理部長 白井 敬人
TEL (052) 683-3000

(訂正・数値データ訂正) 「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正
について

当社は、2023年11月14日に公表しました「2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2024年4月15日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月14日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名
コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 臼井 敬人 TEL 052-683-3000
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,993	9.4	167	214.0	255	102.4	213	110.6
2023年3月期第2四半期	16,452	△3.0	53	△44.8	126	△26.4	101	△37.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	127.40	—
2023年3月期第2四半期	57.47	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,025	12,793	79.8
2023年3月期	15,039	12,306	81.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 12,793百万円 2023年3月期 12,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	45.00	85.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	3.2	290	145.1	400	65.4	280	△12.4	167.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	1,926,900株	2023年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	253,605株	2023年3月期	253,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	1,673,339株	2023年3月期2Q	1,761,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類感染症」へと移行したことにより、社会経済活動の正常化が進みました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、原材料費や燃料費の高騰、個人消費では物価上昇による生活防衛意識の高まりなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、売上高は、外食需要の回復や、魚価の上昇などの要因により、全体で17,993百万円(前年同四半期比9.4%増)となりました。経常利益は、255百万円(前年同四半期比102.4%増)となり、四半期純利益は、213百万円(前年同四半期比110.6%増)となりました。

今後につきましては、出荷者との繋がりを深め、養殖魚や他魚種の集荷に取り組むなど、自然の影響を受けやすい天然魚の漁獲量減少に対応します。また、持続可能な水産物のサプライチェーンに付与されるマリン・エコラベル・ジャパン (MEL) の認証を取得しており、資源や環境に配慮したサステナブルな水産物の取扱いにも関わってまいります。また、2022年12月に「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律」(水産流通適正化法)が施行されました。違法に採捕された水産動植物の流通を防止するため、当社も水産流通適正化法を遵守してまいります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、海水温の上昇や海流の変化といった海洋環境の影響が起因と考えられる漁獲量の減少もあり取扱数量は減少したものの、集荷を強化するとともに、量販店に対する商品の企画提案に取り組んだ結果、まぐろ、帆立貝柱、いわしなどが堅調に推移し増収となりました。

塩冷加工品は、国際的な需要増加や漁獲量減少、円安による仕入価格の上昇といった影響を受けましたが、コロナ禍で落ち込んだ加工業者向け原材料の供給体制が整ったことにより、冷さけ、冷いかなどの取り扱いが増加となりました。

この結果、売上高は17,649百万円(前年同四半期比9.4%増)、営業利益は174百万円(同87.8%増)となりました。

(冷蔵倉庫部門)

外食産業向け商材に回復がみられ、コンビニ向け商品の入庫が順調に推移した結果、売上高は226百万円(前年同四半期比7.6%増)、営業利益は69百万円(同44.6%増)となりました。

(不動産賃貸部門)

主な事業である賃貸マンションが順調に稼働した結果、売上高は116百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業利益は85百万円(同9.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、16,025百万円となり、前事業年度末に比べ985百万円(6.6%)増加しました。これは主に、現金及び預金934百万円、売掛金564百万円、投資有価証券330百万円の増加、商品639百万円、有価証券96百万円の減少によるものです。

負債は、3,231百万円となり、前事業年度末に比べ498百万円(18.2%)増加しました。これは主に、買掛金146百万円、受託販売未払金85百万円の増加によるものです。

純資産は、12,793百万円となり、前事業年度末に比べ487百万円(4.0%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金349百万円、利益剰余金137百万円の増加によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、財務活動の結果、配当金の支払額等により75百万円の減少となりましたが、営業活動の結果、棚卸資産の減少等により744百万円、投資活動の結果、有価証券の償還による収入等により265百万円それぞれ増加となったため、前事業年度末に比べ935百万円(27.2%)増加し、当第2四半期会計期間末には4,371百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、2023年5月12日発表の通期の業績予想は変更していません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,790,268	4,725,202
売掛金	1,701,388	2,266,064
有価証券	496,020	399,214
商品	3,075,129	2,435,183
貯蔵品	7,218	7,020
その他	12,290	21,104
貸倒引当金	△8,120	△9,569
流動資産合計	9,074,194	9,844,220
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	666,209	646,629
土地	1,955,249	1,955,249
その他（純額）	34,923	29,198
有形固定資産合計	2,656,381	2,631,077
無形固定資産		
投資その他の資産	53,468	43,527
投資有価証券	2,902,099	3,232,567
関係会社長期貸付金	90,000	90,000
その他	961,247	879,695
貸倒引当金	△697,678	△695,916
投資その他の資産合計	3,255,668	3,506,346
固定資産合計	5,965,518	6,180,952
資産合計	15,039,713	16,025,173
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,776,672	1,923,330
受託販売未払金	112,762	197,776
未払法人税等	38,601	62,732
賞与引当金	60,856	49,781
役員賞与引当金	11,805	—
その他	161,485	297,111
流動負債合計	2,162,183	2,530,732
固定負債		
退職給付引当金	300,016	298,239
その他	271,234	402,522
固定負債合計	571,251	700,762
負債合計	2,733,434	3,231,494

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	<u>9,923,614</u>	<u>10,061,496</u>
自己株式	<u>△856,388</u>	<u>△856,525</u>
株主資本合計	<u>11,562,998</u>	<u>11,700,742</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	743,280	1,092,935
評価・換算差額等合計	<u>743,280</u>	<u>1,092,935</u>
純資産合計	<u>12,306,279</u>	<u>12,793,678</u>
負債純資産合計	<u>15,039,713</u>	<u>16,025,173</u>

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	16,452,492	17,993,251
売上原価	15,645,117	17,054,036
売上総利益	807,375	939,215
販売費及び一般管理費	754,007	771,616
営業利益	53,367	167,599
営業外収益		
受取利息	4,628	5,263
受取配当金	56,162	58,225
受取手数料	11,960	11,727
その他	14,720	12,925
営業外収益合計	87,471	88,142
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	14,494	—
雑損失	—	0
営業外費用合計	14,494	0
経常利益	126,344	255,742
税引前四半期純利益	126,344	255,742
法人税、住民税及び事業税	628	60,425
法人税等調整額	24,500	△17,865
法人税等合計	25,129	42,560
四半期純利益	101,215	213,182

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	126,344	255,742
減価償却費	33,974	37,285
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14,467	△312
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,802	△11,805
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,216	△11,074
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△19,169	△1,777
受取利息及び受取配当金	△60,790	△63,489
売上債権の増減額 (△は増加)	△444,129	△565,103
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△705,139	640,144
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,020,552	231,671
未払金の増減額 (△は減少)	△67,778	66
未払費用の増減額 (△は減少)	10,754	11,200
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,385	120,570
その他	△54,468	75,728
小計	△158,016	718,846
利息及び配当金の受取額	60,224	63,494
法人税等の支払額	△126,464	△37,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	△224,257	744,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	100,000	400,000
定期預金の預入による支出	△422,264	△320,800
定期預金の払戻による収入	422,828	321,000
有形固定資産の取得による支出	△30,000	△2,040
無形固定資産の取得による支出	△6,000	—
投資有価証券の取得による支出	△2,237	△132,514
投資活動によるキャッシュ・フロー	62,326	265,645
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△102	△137
配当金の支払額	△79,274	△75,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,376	△75,408
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△241,308	935,104
現金及び現金同等物の期首残高	3,628,132	3,436,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,386,824	4,371,422

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに
収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	16,132,716	210,526	—	16,343,242	—	16,343,242
その他の収益	—	—	109,249	109,249	—	109,249
外部顧客への 売上高	16,132,716	210,526	109,249	16,452,492	—	16,452,492
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	62,355	—	62,355	△62,355	—
計	16,132,716	272,881	109,249	16,514,848	△62,355	16,452,492
セグメント利益	92,855	47,757	77,785	218,398	△165,030	53,367

(注) 1 セグメント利益の調整額△165,030千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに
収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	17,649,873	226,580	—	17,876,454	—	17,876,454
その他の収益	—	—	116,797	116,797	—	116,797
外部顧客への 売上高	17,649,873	226,580	116,797	17,993,251	—	17,993,251
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	67,592	—	67,592	△67,592	—
計	17,649,873	294,172	116,797	18,060,844	△67,592	17,993,251
セグメント利益	174,355	69,075	85,259	328,690	△161,091	167,599

(注) 1 セグメント利益の調整額△161,091千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。